

事業承継計画分析資料

1. 会社の概要

□ 会社概要		□ 沿革	
会社名	株式会社A	19xx年	●●市にて先代創業
住所	●●県●●市●●1-1-1	19xx年	●●氏（現経営者）が承継
資本金	●●百万円	19xx年	●●市に移転
従業員	●●名	20xx年	●●氏（後継者）入社予定
業種	食品加工、販売		
事業内容	フリーズドライ食品製造販売		

□ 主要株主				□ 親族関係者及び後継者			
株主名	保有株式数 (株)	割合	備考	氏名	年齢	続柄	備考
A氏	5,000	50.0%		A氏	65	本人	
B氏	3,000	30.0%		B氏	60	妻	
C氏	1,000	10.0%		E氏	40	長男	
D氏	700	7.0%		F氏	35	次男	
その他2名	300	3.0%		G氏	34	長女	
発行済株式数	10,000	100%		Z氏	41	社員	現営業部長

□ 経営者資産状況等			□ 会社財務状況		
項目	評価額 (円)	備考	項目	金額 (千円)	備考
自宅土地			売上高	50,000	
自宅家屋			経常利益	5,000	
現預金			当期利益	3,000	
その他			総資産	60,000	
その他			純資産	20,000	
合計			借入残高	30,000	
特記事項			特記事項		

2. 事業の分析

□ SWOT分析	
自社の強味	自社の弱み (経営課題)
事業機会	事業脅威

3. 経営課題の整理

□ 事業承継における経営課題の整理			
	課題	解決の担い手	優先度
会社	<ul style="list-style-type: none"> 受託生産への偏り（現在約75%）を是正し、独自製品 製販強化による利益率向上。 商品開発力強化。 独自販売先の新規開拓（含む海外展開）。 	経営者 後継者 営業本部 商品開発部 JETRO	1
経営者	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画遂行に向けての事業戦略立案 会社・個人の資産分離 後継者への経営ノウハウ伝授 現株主（複数）から後継者への円滑な株式移転 	経営者 Aコンサルティング	3
後継者	<ul style="list-style-type: none"> 経営陣とのコミュニケーションを通じて経営ノウハウ習得 工場勤務を通じての技術面の理解、習得 経営者の経営サポート 	経営者 取締役 部長職	2

4. 円滑な事業承継への骨子

【株主及び代表者の変更時期、株式譲渡の割合、開業・廃業の時期に係る合意内容を明記のこと】

後継者育成スケジュール (案)

- 年○月 取締役登用
以降、他取締役と共に企業経営に参画し、経営手腕を鍛錬。
- 年○月～○年○月 (1年間) 生産ライン管理 (工場統括)
- 年○月～○年○月 (1年間) 人事総務部門、開発部部門をローテーション
- 年○月 代表取締役社長交代

経営者の今後の取組スケジュール (案)

- 年○月～○年○月 (1年間) 会社・個人の資産分離
- 年○月～ 分散した少数株式の集約

その他スケジュール (案)

- 年○月～○年○月 (2年間) 新製品開発期間